

## 第17回APCTP日本委員会会合議事録

日時：2019年3月25日（月）午後1時00分から午後2時40分まで

場所：理化学研究所和光キャンパス研究本館160号室

出席者（順不同、敬称略）：河本昇（北海道大学）、小形正男（東大理）、横山順一（東大  
ビッグバン宇宙国際研究センター）、磯曉（KEK）、多田 司（理化学研究所）

TV会議で参加；大西明（京大基研）、青木慎也（京大基研）、田中 貴浩（京大  
理）

Skypeで参加；原田正康（名古屋大学）、佐々木節（京大基研）、押川 正毅  
(東大物性研)

欠席者（順不同、敬称略）：菅原寛孝（KEK）、藤川和男（理化学研究所）、九後汰一郎  
(京都産業大学)、川上則雄（京大理）、初田哲男（理化学研究所）、保坂淳（阪大  
RCNP）

### 1. 前回議事録承認

第17回APCTP日本委員会会合の議事録案が原案どおり承認された。

### 2. APCTP理事会報告

2019年3月22日に行われた第32回理事会の報告が、30回、31回理事会の部分も  
含めて理事として出席した河本委員長から行われた。

新任のJRG group leaderとして日本人研究者二人がそれぞれ選ばれたことなどが報告され  
た。

第31回理事会での報告としては、規約により理事の任期と所長の任期を合わせる必要から  
所長選考をこの秋までに行うことになった経緯、そのような事態を避けるための規約改正な  
どが行われたことなどが報告された。第32回理事会では、所長選考委員会委員長の選定さ  
れたことが報告された。その他2018年度の決算承認、2019年度補正予算の承認、キ  
ルギスタンのメンバー国としての承認と3年間の参加費の猶予、ウズベキスタンのMember  
EntityをInstitute of Nuclear Physics AS Uzへの変更の承認、ウズベキスタン  
の参加費を3年間5,000ドルとする事の承認、カナダが1年間参加費を5,000ドル  
とし、その後は普通通り一万ドルの参加費を払う事を促す事が承認されたことおよび規約の  
改正が承認されたことなどが、報告された。

次回理事会が11月25日に予定されていることが報告された。

JRGの研究費・人件費について、また所長の任期について質疑が行われた。

### 3. General Council報告

2019年3月22日に上記理事会に先立って行われた第21回のGeneral Councilに  
について出席した磯委員から報告があった。

日本からは磯委員、原田委員（初田委員の代理）、押川委員、河本委員長が出席したことが  
報告された。予算増額の報告、APCTPの活動報告があったことが報告された。韓国外から  
のAcademic Programが減っていることなどがコメントされた。

メンバー国間の交流、pedagogical なスクール形式を中心とし、発展途上国で、教育目的を主眼に開催する新プログラム、Corporative External Programについて提案と議論が行われ、選定をBang所長と河本理事長に一任したことが、報告された。APCTPとのジョイントポスドクプログラムについての提案が議論されたことが報告された。General Council memberについて

新プログラムであるCorporative External Programについて河本委員長から補足説明があった。

日本の国際貢献のあり方と現状に関して意見交換が行われた。

#### 4. 所長選考委員会の経過報告

所長選考委員会に関しての現状の報告が行われた。

#### 5. 新たに新設されるexternal activity への日本の協力体制

Corporative External Programに対して日本からできる協力に関して、意見・アイデアが求められた。

#### 6. Board of Trustees他の推薦について

2019年11月25日に任期満了を迎えるBoard of Trusteesに河本委員長を推薦することが全会一致で決定された。

2019年12月31日に任期満了を迎えるGeneral Councilについては、素粒子分野からのメンバーとして磯委員、宇宙分野から田中委員を推薦することが決定された。物性分野からのメンバーについては物性分野関係の委員で協議することになった。

2019年11月29日に任期満了を迎えるAuditorについては、現Auditorである五味田将氏（高エネルギー加速器研究機構研究協力部 国際企画課長）に引き続きお務め頂くようお願いし、お引き受け頂ける場合は推薦することになった。

#### 7. 次期委員について

2019年3月31日で任期が満了となる委員について、選出母体の各コミュニティに後任の指名を依頼した結果が報告された。結果は以下のとおり：

物性グループ 藤本 聰（阪大基礎工）

原子核サブグループ 原田 正康（名大理）※再任

理論天文学宇宙物理学懇談会 佐々木 節（東大KIPMU）※再任

素粒子論サブグループ 橋本 幸士（阪大理）

また研究機関選出委員で2019年3月31日に任期の満了を迎える委員については、各研究機関からの申し出がない限り、重任されたものとして委員をお務めいただくようお願いした。

#### 8. メンバーシップフィーについて

2018年のメンバーシップフィーについて、KEKへ送付された請求書に基づき、KEKからの支払の後、KEKから東大物性研、阪大RCNP、東大ビッグバンセンター、理研仁科加速器研究センター、京大基研へ均等割の請求書が送られ、支払いが完了したことが報告された。分担した研究機関に謝意が表された。

## 9. その他

Scientific activityを決めているのはどこかという質問が出され、APCTPの活動の国際化に関して意見交換が行われた。

APCTPのBoard of Trustees、General Council等が直接コミュニティに報告することを検討してほしいとの意見が出された。

## メール審議

日時：2019年9月11日審議開始—9月13日決定

物性分野関係の委員で協議することとなっていた物性分野からのGeneral Councilメンバーについて、物性分野の委員より桂法称氏（東大理物）が候補として挙げられた。これについてメールで委員の意見を徴したところ、委員全員の賛成が確認できたため、次期General Councilの候補として、磯委員、田中委員に加えて桂法称氏を推薦することとなった。

以上